

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「情報セキュリティマネジメント試験 平成31年度春期試験」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、4月21日(日)に実施された「情報セキュリティマネジメント試験 平成31年度春期試験」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の秋期試験の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近2回分(平成30年度春期試験、平成30年度秋期試験)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

大分類		中分類	H30春 出題数	H30秋 出題数	H31春 出題数
重点分野	技術要素	セキュリティ	30問	30問	30問
	企業と法務	法務	6問	5問	6問
小計			36問	35問	36問
その他の 分野	コンピュータシステム	システム構成要素	2問	1問	1問
	技術要素	データベース	1問	3問	1問
		ネットワーク	1問	0問	1問
	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント	1問	2問	1問
	サービス マネジメント	サービスマネジメント	2問	6問	2問
		システム監査	4問	0問	4問
	システム戦略	システム戦略	0問	2問	1問
		システム企画	2問	0問	2問
企業と法務	企業活動	1問	1問	1問	
小計			14問	15問	14問
全合計			50問	50問	50問

●問題形式別

問題形式	H30春 出題数	H30秋 出題数	H31春 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	12問 (24%)	17問 (34%)	9問 (18%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	36問 (72%)	31問 (62%)	39問 (78%)
計算(数値や計算式を求める問題)	2問 (2%)	1問 (2%)	1問 (2%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	0問 (0%)	1問 (2%)	1問 (2%)
合計	50問 (100%)	50問 (100%)	50問 (100%)

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の春期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは、次のとおりです。

設問	出題テーマ	設問数
1	サイバー攻撃を想定した対応演習	10 問
2	企業における情報セキュリティ管理	10 問
3	情報セキュリティ管理策の自己点検	11 問
	合計	31 問

3. 問題分析

情報セキュリティマネジメント試験がリリースされて、今回で 7 回目の試験となりました。難易度は回を追うごとに少しずつ上がっており、今回の春期試験についても、午前問題・午後問題ともに同様の傾向でした。

【午前問題】

各問題の難易度を他の試験区分と比較してみると、次頁のような内訳となりました。

レベル 1 相当の問題は回を追うごとに少なくなり、今回は出題がなくなりました。また、レベル 3 相当の問題も少なく、試験本来のレベル 2 相当の問題が全体の約 9 割出題されています。シラバスにない用語に関する新規出題も多くあり、前回より難易度が上がった印象です。

難易度	H29 春 出題比率	H29 秋 出題比率	H30 春 出題比率	H30 秋 出題比率	H31 春 出題比率
IT パスポート試験(レベル 1)相当	13 問 (26%)	5 問 (10%)	3 問 (6%)	2 問 (4%)	0 問 (0%)
基本情報技術者試験(レベル 2)相当	28 問 (56%)	35 問 (70%)	42 問 (84%)	33 問 (66%)	46 問 (92%)
応用情報技術者試験(レベル 3)相当	9 問 (18%)	10 問 (20%)	5 問 (10%)	15 問 (30%)	4 問 (8%)
合計	50 問 (100%)				

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

また、今回も午前問題の約 5 割が、過去問題から流用されていました。そのうちの半分が情報セキュリティマネジメント試験(SG)からの過去問で、あとの半分は基本情報技術者試験(FE)と応用情報技術者試験(AP)からの出題でした。そのため、過去問題対策をしっかりしておけば、一定の得点を稼ぐことが可能です。

カテゴリ別に見ると、シラバスの「重点分野」から約 7 割、「その他の分野」から約 3 割が出題されており、過去の試験と同様の出題比率でした。全体的な傾向としては、前回から引き続き、JIS Q 27000 シリーズについて規格の詳細を問う問題が目立っていましたが、IPA 発行の“中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン”についての問題は 1 問のみとなりました。その他、“政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準”や“特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン”、“情報セキュリティ監査基準実施基準ガイドライン”など新しいガイドラインからの出題が多くありました。これらの規格やガイドラインについては、事前に確認しておくといでしょう。

問題形式別に見ると、「用語」が約 2 割、「事例」が約 8 割となっており、単純な用語を問う問題よりも考察が必要な事例に関する問題が多い傾向は変わりません。また、「計算」や「データベース」の問題も変わらず 1 問出題されているため、今後も、これらの問題は出題されると予想されます。

シラバスにない用語として、「アンチパスバック」「IP マスカレード」「グリーン購入」などに関する問題が出題されました。このうち、「アンチパスバック」は平成 29 年度秋期でも取り扱われたことがある用語です。シラバスにない用語でも、過去に出題された用語はしっかりと学習しておきましょう。

【午後問題】

午後問題は、前回の 40 ページから 44 ページに増え、問題数も 25 問から 31 問に増えました。今回は、解答群の中から該当する組み合わせを選択する問題が特に多く出題されました。また、シラバスに掲載のない「レッドチーム演習」を解答とする問題や「CVSS v3」に対する知識が求められる問題など、技術的な理解がないと解答を導き出すことが難しい問題もあり、苦戦した受験者は多かったと思われます。

問題そのものは、全体的なボリュームは増えたものの、問われている空欄や下線の周辺にある文章をよく読み、情報セキュリティに対する基本的な理解があれば解答を導き出すことができる内容が多くありました。

いずれにしても、時間配分には留意し、普段から長文に慣れておくことが重要です。

4. 試験動向

基本情報技術者試験やITパスポート試験など他の試験の応募者数が安定している中、本試験は減少傾向にあり、今回も微減しています。また、合格率は減少幅が大きいですが、難易度の安定とともに下げ止まると考えられます。

	H28 春	H28 秋	H29 春	H29 秋	H30 春	H30 秋	H31 春
応募者数	21,691 名	22,186 名	21,162 名	20,907 名	19,300 名	19,692 名	18,129 名
受験者数	17,959 名	18,630 名	17,045 名	17,039 名	14,749 名	15,579 名	※
合格者数	15,800 名	13,105 名	11,324 名	8,590 名	7,926 名	7,220 名	※
合格率	88.0%	70.3%	66.4%	50.4%	53.7%	46.3%	※

※2019年4月現在、未公開。

5. 教材ラインナップ

当社の「情報セキュリティマネジメント試験」教材のラインナップは、次のとおりです。

●書籍

No.	教材名	型番 価格(税別)	説明
1	情報セキュリティマネジメント試験 対策テキスト&過去問題集 平成 29 年度版	FPT1622 2,200 円	シラバス(Ver1.1)にそって必要な知識を解説する教科書。出題範囲の体系的な学習に最適。平成 28 年度春期・秋期試験(2 回分)の解説を収録。 ※平成 31 年度版の提供予定はありません。
2	短期集中! 情報セキュリティマネジメント試験 改訂版	FPT1712 1,500 円	情報セキュリティ管理の概要を短時間で効率的に学習するためのコンパクトガイド。パソコンやスマートフォンから手軽にアクセスして利用できる「予想問題 100」付き。 ※情報処理技術者試験の過去問題から出題が予想される情報セキュリティ関連の問題を 100 問抜粋。インターネット経由で、繰り返しチャレンジできるドリルです。

※詳しくは、<http://www.fom.fujitsu.com/goods/jsm/index.html> をご覧ください。

●アプリ

No.	教材名	価格 (税込)	説明
1	Android 版(Google Play) 情報セキュリティマネジメント試験 平成 28 年度 春・秋	320 円	スマホやタブレットで手軽に学習できるアプリ。 平成 28 年度春期・秋期試験の午前問題 全 100 問(2 回分)を収録。
2	Android 版(Kindle) 情報セキュリティマネジメント試験 平成 28 年度 春・秋	320 円	
3	iOS 版(App Store) 情報セキュリティマネジメント試験 平成 28 年度 春・秋	360 円	

※詳しくは、<http://www.fom.fujitsu.com/goods/ebook/ap.html> をご覧ください。

以 上